

静岡大学ガイダンス 教員採用試験の全体像と 試験対策

神谷正孝（大学生協オリジナル教員講座講師・KEI塾主任講師）

自己紹介

神谷正孝

大学院在学中より教員採用試験対策予備校で対策講座を担当。以後、30年にわたり累計10,000人以上を直接指導。大学生協教員講座講師、教員採用試験対策専門スクールkei塾主任講師として、全国の大学で講義を担当。教育新聞にて「神谷正孝の5分でわかる教育時事」を好評連載中。



本日の目標

3

- ・教員採用試験の仕組みを知る
- ・昨今の試験動向と3年次で受験できる試験を理解する
- ・今から何をすればよいか分かる

テーマ1 教員採用試験とは 何か



教員採用試験とは？

5

- 公立学校教員になるための試験
- 自治体ごとに実施（都道府県・政令市）
- 学校種・教科・職種ごとに実施
- 一次試験＋二次試験が基本構造

地域ごとに問題の形式や
難易度が異なる

1一部地域では1次・2次の区別なし
(1次試験が形骸化している地域も)



静岡県・静岡市・浜松市の試験日程と内容

	静岡県 (令和8年度採用)	静岡市 (令和8年度採用)	浜松市 (令和8年度採用)
受付開始	1月14日～3月4日	2月7日～3月14日	2月10日～3月14日
1次試験	5月10.11日	5月10.11日	5月10.11日
1次合格発表	6月9日	6月9日	6月27日
2次試験	6月28.29日	6月28.29日	7月26.27日
2次合格発表	8月8日	8月8日	8月29日
1次試験内容	教養・専門・面接(高)	教養・専門・面接	教養・専門・面接
2次試験内容	面接・小論文(高)	面接・集団討議	面接・レポート作成 授業(保健)に関する面接

その他主な受験先について

7

	愛知県	名古屋市	神奈川県	横浜市
1次試験	教職 一般 専門 小論文	教職 一般 専門 小論文	教職 一般 専門 論文※	教職 一般 専門 論文※
2次試験	○個人面接 (2回) ○実技	○個人面接 (2回) ○実技	○個人面接 ○模擬授業 ○実技	○個人面接 ○模擬授業 ○実技

※神奈川県及び横浜市の1次試験の論文は2次試験で評価する

教員採用試験の基本構造

8

筆記試験は教養＋専門
教養は教職のみ、教職＋一般

☆基本は**得点**で決まる
☆最近では**加点措置**もある
☆大学推薦で一部免除などもあり

1次試験

- 筆記試験
- 実技試験
- 集団討議・面接
- 論文

2次試験

- 面接
- 実技
- 模擬授業
- 論文

正規採用

人物評価試験中心
☆経験・特技
☆人間性・教職観など
☆**熱意・意欲・使命感**

テーマ2 昨今の試験状況と 大学3年生で受験できる 試験



令和8年度各県・市 教員採用選考試験の実施状況

カッコ内は昨年の実績
最終合格者欄上段＝最終合格人数、下段＝最終倍率、倍率は合格者/1次受験者で算出

	小学校	中学校	高校	特別支援	全体
静岡県	222(203) 2.4倍(2.9)	124(108) 4.4倍(4.9)	95(102) 5.0倍(5.0)	87(98) 1.8倍(1.7)	538(521) 3.5倍(3.9)
静岡市	58(53) 3.4倍(3.8)	40(41) 4.7倍(4.3)			101(98) 4.1倍(4.4)
浜松市	102(108) 2.2倍(2.3)	57(60) 5.7倍(6.1)	発達支援推進教員8(3) 5.5倍(19.0)		171(175) 3.7倍(4.1)
	小学校	中学校	高校	特別支援	全体
愛知県	730(710) 2.3倍(2.5)	400(430) 3.3倍(3.2)	290(350) 4.0倍(3.4)	150(170) 2.1(2.2)	1635(1750) 3.0倍(3.0)
神奈川 県	228(304) 2.1倍(2.0)	242(206) 3.0倍(3.9)	325(387) 3.7倍(3.4)	135(129) 2.2倍(2.0)	1054(1054) 3.2倍(3.0)
横浜市	563(628) 1.5倍(1.5)	418(263) 2.2倍(3.3)		65(76) 1.6倍(1.6)	1081(1003) 2.0倍(2.1)

変化する試験

- 日程早期化
→ 標準日は5月！
- 複数回の選考
- 前倒し選考
(3年次で2次まで受験で)
- 試験の共通化？
→ 2027年実施試験から？

11

教育新聞

教員と働き方 2025-08-07

教採1次試験を共通問題で共同実施 27年度から複数教委で

教員採用試験の1次試験について、文部科学省は8月7日に開かれた中教審教員養成部会第153回会合で、複数の自治体で共通問題を活用する方針を示した。7月には共同実施を前向きに検討している51自治体が参加する協議会が発足し、2027年度の開始に向けて論点を検討している。1次試験の共同実施によって、教員採用試験を実施する教育委員会の負担軽減や問題の質の向上につながるなどの効果が期待される。

現在の公立学校の教員採用試験の1次試験は、試験を実施する各都道府県・政令市などがそれぞれ独自に問題を作成している。問題の作成から試験の運営、採点对応など、各教委の負担は大きかった。

11教委が参加し、24年1月に文科省が立ち上げた1次試験の共同実施に関する検討会議では、「統一試験方式」と「共通問題配布方式」の2つの方法のメリットと課題を整理。

第三者機関が作問から開催まで一貫して実施する統一試験方式は、1次試験の業務の大部分を共通化するため負担軽減効果が大きく、1次試験と2次試験の出題を分ければ受験者が複数の自治体を併願することも可能だが、自治体独自の問題の追加や改変ができないなどのデメリットもある。

一方で、第三者機関が作成した共通問題を活用しつつ、試験運営は各教委が行う共通問題配布方式は、大きな仕組みの変更を伴わずに実施でき、共通問題をベースに自治体独自の問題の追加や改変が可能だが、負担軽減の効果は限定的だ。共通問題を使用することから1次試験の日程を統一する必要がある、他の自治体との併願も難しい。

そこで、検討会議では統一試験方式を最終的な目標に据えながらも、まずは共通問題配布方式での共同実施を目指す結論付けた。

特別選考・大学推薦

- ボランティア活動、学校支援活動などの実績
- 資格や複数校種・教科免許・特別支援の免許など
- 語学の技能・情報関連の技能など
- スポーツや芸術分野の秀でた実績など

特別選考→ 1次試験の一部または全部を免除
加点制度→ 1次試験に加点

さらに・・・
大学推薦により 1次試験一部または全部免除なども一般化

大学3年次受験

13

- 小学校は受かりやすいが厳しい教科や校種も・・・
- 政令市は厳し目 ● 各地で拡大している

メリット

- 計画的に受験対策可能
→ 2次試験に向けて、ボランティア活動など学校現場に関わる活動がしやすくなる

デメリット

- 2年時の学習負担が増加
- 進路変更が難しくなる

大学3年次受験で合格し、4年次の2次試験で不合格の場合は、もう一度筆記試験のすべてを受験しなければならないケースが多い！

3年時受験のパターン

14

- ① 3年時にすべての1次試験を受験
→ 筆記（教養・専門）・論文・実技等
⇒ 合格すると、4年時は2次試験のみ受験
- ② 3年時にすべての筆記試験を受験
→ 筆記（教養・専門）
⇒ 合格すると、4年時は2次試験のみ受験
- ③ 3年時に一部の筆記試験を受験
→ 筆記（教養のみ）
⇒ 合格すると、4年時は専門と2次試験のみ受験

テーマ3 採用試験に向けて



① 筆記試験対策の考え方

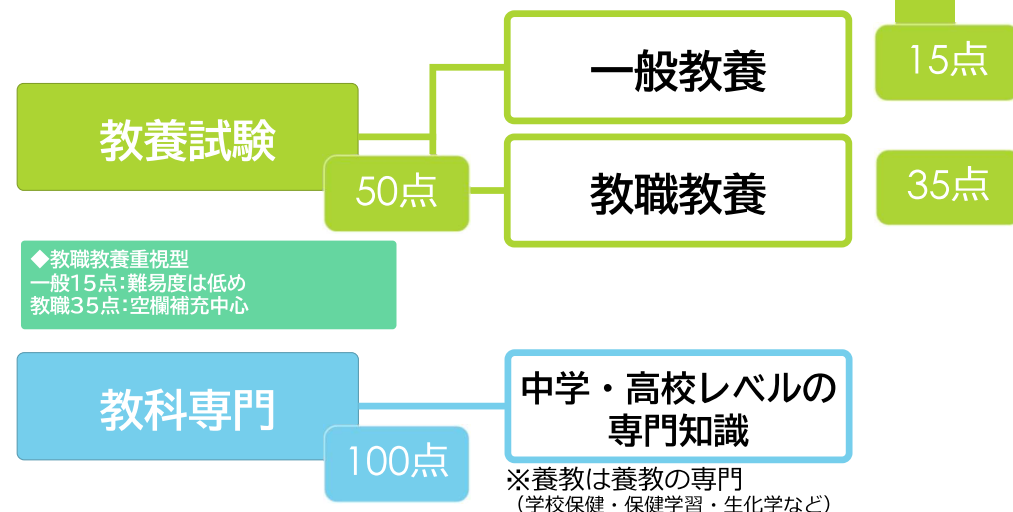
16

- 教職教養はゼロベースの対策
- 一般教養は思い出す対策
- 専門科目は教科・職種により異なる
 - ・ 国社数理英→受験時の知識レベル
 - ・ その他→体系的に対策が必要
 - ・ 養教→とにかく覚えることが多い



一夜漬けは効かない
出題範囲が広いため、積み重ね型の対策を

静岡県・市・浜松市の筆記試験



静岡県・市・浜松市の筆記試験（教養試験）

18

一般教養 1点×15 計15点

国語(2)・社会(2)・数学(2)
理科(2)・英語(2)
その他5(保体・芸術・情報・家庭・時事など)

教職教養 1点×35 計35点

法規・原理や心理、教育史の人名
学習指導要領・教育時事など
(出題の形式は傾向があるが、出題内容、科目は
確固たる傾向はない)
→幅広く出題されている

②面接対策の考え方

19

- 現役生は「熱意」や「意欲」が大切
- 知識よりも人柄・姿勢・考え方
- 教育への思いは経験と結びつく
→教員就職へ向けての準備



教員就職へ向けての準備を意識する

(テクニックではなく内部リソースを高めることを考えよう)

- ・ボランティア、学校支援、教育関係の活動など
- ・専門性を磨く努力
- ・豊かな経験、幅広い教養